

発表区域細分化シミュレーション

平成24年5月6日 栃木県の例

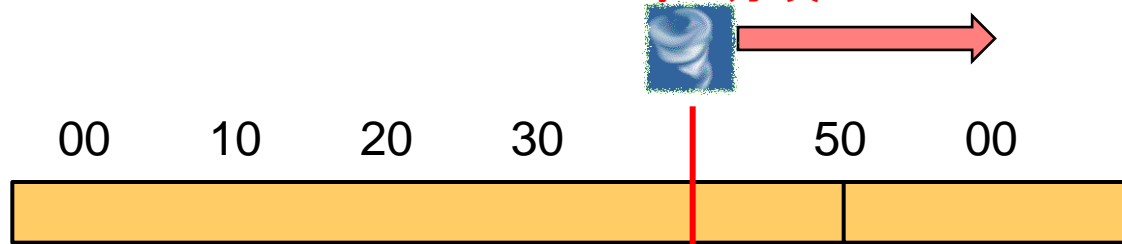
◆竜巻発生時刻

12時40分頃

○実際の発表

竜巻注意情報発表時刻

栃木県 11時54分

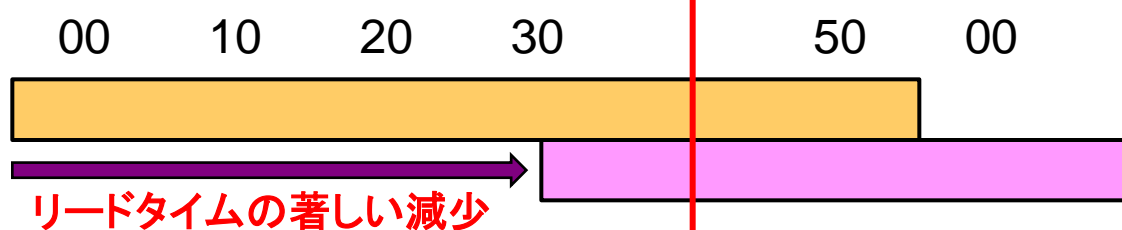


○一次細分区域で発表した場合

竜巻注意情報発表時刻

栃木県北部 11時55分

栃木県南部 12時30分



○市町村ごとに発表した場合

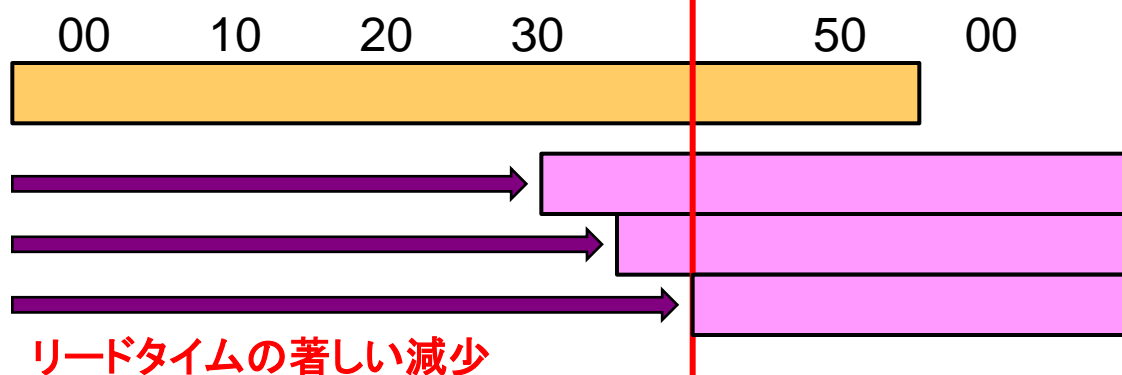
竜巻注意情報発表時刻

日光市 11時55分

真岡市 12時30分

益子町 12時35分

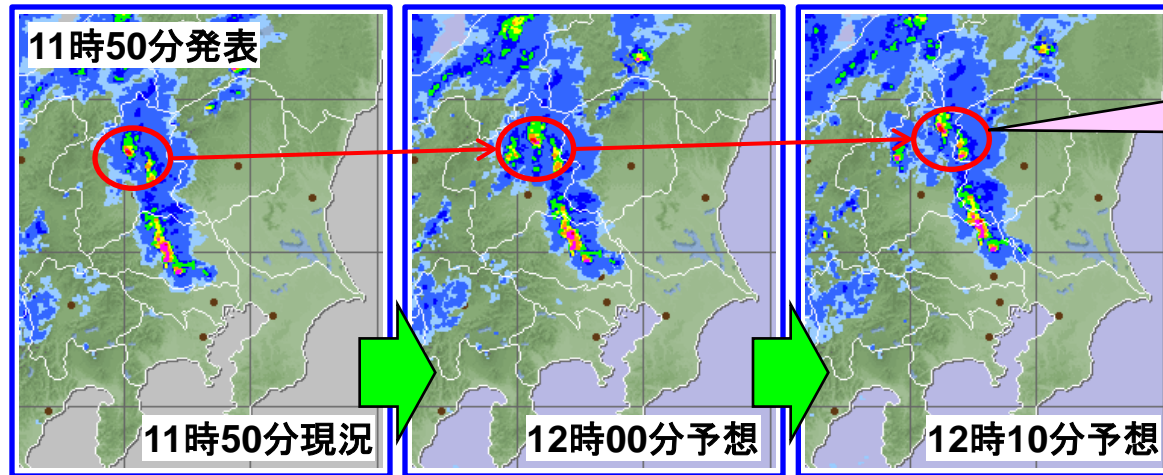
茂木町 12時40分



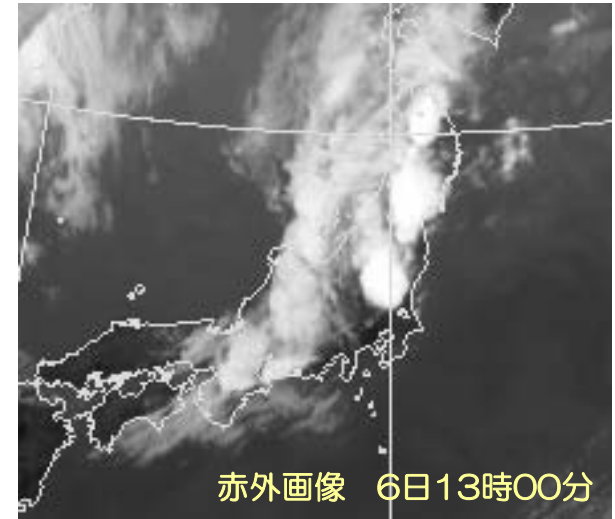
発表区域細分化シミュレーション

平成24年5月6日 栃木県の例

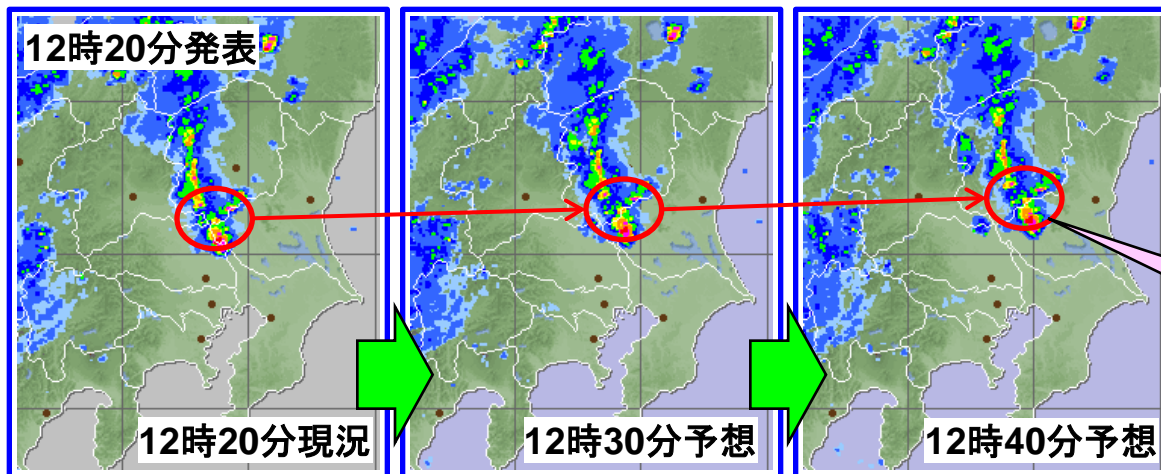
○11時50分の雨雲の予想



栃木県**北部**に接近する積乱雲を予想



○12時20分の雨雲の予想



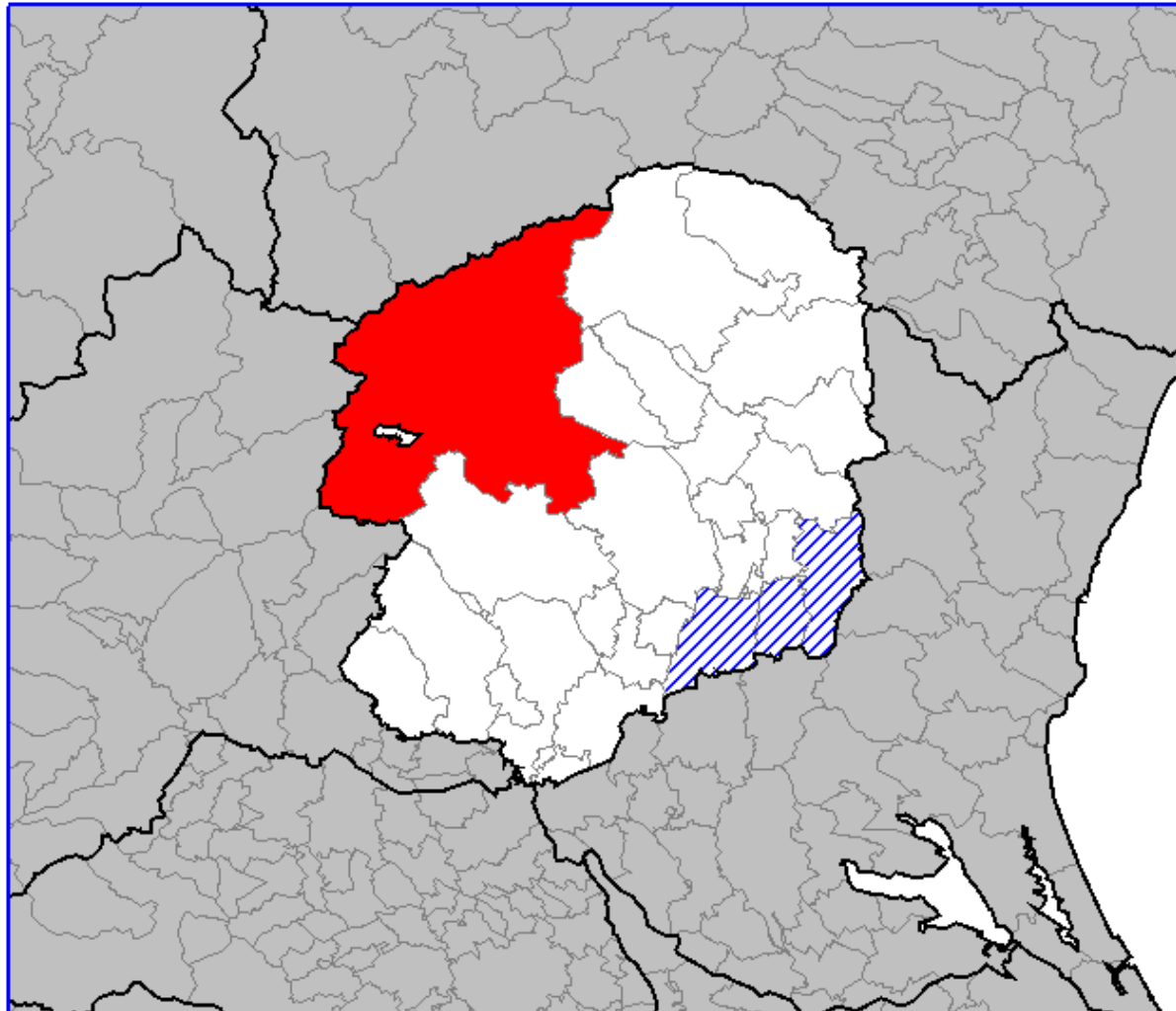
栃木県**南部**に接近する積乱雲を予想

発表区域細分化シミュレーション

平成24年5月6日 栃木県の例

3

市町村 発生確度2 (FT20まで) 2012 05/06 11:55 第1号



市町村あたりの発表時間

83分

(当日実際は255分)

竜巻注意情報発表回数

12回

(当日実際は4回)

発表対象市町村の推移(動画)

- コマの時間間隔は5分
- 市町村毎に1時間の有効期間
- 対象市町村が増えた時に、再発表(右上に号数が表示される)

発表区域細分化シミュレーション

メリット

- 対象地域の絞り込みができる
- 市町村ごとに見ると発表回数、発表時間が減少する

デメリット

- 突風を捕捉できなくなる事例がある(捕捉率の低下)
- リードタイムが短くなる場合がある
- 県全体で見ると発表回数が大幅に増加する